

# コロナ禍において新分野に挑戦する事業者の取組事例

## 【事業者等による新たな取組事例】

取組の概要	主な取組事業者
<b>【配達、買い物代行などの請負】</b> タクシー事業者が、スーパーでの買い物や飲食店の料理配達等を代行。高齢者などが買い物をしやすくなるとともに、感染防止にも貢献する。	タクシー事業者
<b>【移動スーパー】</b> 生鮮食品や野菜など様々な商品をトラックに積んだ移動スーパーが、購入希望者宅を訪問。高齢者などが買い物をしやすくなるとともに、感染防止にも貢献する。	スーパー
<b>【ドライブスルー方式による販売】</b> 駐車場内などに飲食店・土産店・酒店等様々な店舗を設けることで、購入者が車から降りずに、注文から商品の受け渡しまで済ませることを可能にする。購入者が一度に様々な商品が購入することが可能になるとともに、感染防止にも貢献する。	飲食店・土産店等
<b>【商工団体が中心となったテイクアウト紹介】</b> 商工会等が中心となり、テイクアウト店舗を紹介するホームページや冊子を作成。飲食店のテイクアウト事業を支援するとともに、購入者が様々な商品を選択することが可能になる。	飲食店
<b>【オンラインストアによる販売】</b> 伝統工芸品のネット通販サイトを立ち上げることにより、コロナ禍でイベント等の開催が困難な中でも、陶芸家等と消費者がつながる場を設ける。	陶芸家等
<b>【クラウドファンディングによる資金調達】</b> 飲食店等が、通販商品開発などの事業継続のための取組に際し、クラウドファンディングで資金を募る。消費者は、食事券を事前に購入するといった形で売上に貢献し、事業継続に取り組む飲食店を応援する。	飲食店等
<b>【強みを生かした新商品の開発】</b> 自社の醸造技術を応用し、新たにアルコール消毒液を製造。今までに培った自社の強みを活かして新商品を開発し、新たな生活様式に対応する。	酒造会社

上記は、新聞報道等をもとに、コロナ禍において新分野に挑戦する事業者が取り組む事業をまとめた一例です（茨城県産業政策課 令和3年3月更新）

取組の概要	主な取組事業者
<p><b>【宿泊・旅行事業に進出】</b></p> <p>写真館が旅館を購入し、新たに写真と宿泊が融合した事業に着手。結婚や還暦など、お祝いの撮影付き宿泊プランを用意し、旅館に併設したフォトスタジオで記念写真のニーズに対応。</p>	写真館、宿泊業者
<p><b>【移住促進機能を持つホテル展開】</b></p> <p>宿泊業者が、コロナ禍で地方回帰の流れが増加したことを受け、地方移住促進を目指す田舎体験プログラムを企画。その受け皿として、ショートステイ用の宿泊施設や、地方移住コンシェルジュの配置等、従来の宿泊業をこえた取り組みを展開。</p>	宿泊業者
<p><b>【コワーキングスペースの提供】</b></p> <p>飲食店等が、仕込み時間帯などの空席を利用し、テレワーカー向けに店舗の一部をコワーキングスペースとして賃貸し、営業収入を獲得。 店舗とテレワーカーのマッチングには、IT企業等が提供するマッチングサービスを活用。</p>	飲食店、IT企業等
<p><b>【飲食店における在庫食品販売】</b></p> <p>飲食店が、卸・メーカー企業が抱える缶詰やレトルト食品等の過剰在庫を安価で調達し、店舗にて販売することで、新たな収益機会を確保。 商品の調達には、IT企業等が展開するフードシェアリングサービスを活用。</p>	食品加工業者、飲食店、IT企業等
<p><b>【飲食店のメニューをパッケージ化し販売する通販サービス】</b></p> <p>食品加工サービス業者が、依頼を受けた飲食店のレシピ通りにメニューの味を再現・パッケージ化し、消費者に提供する通販サービスを展開。飲食店は手数料収入を獲得し、消費者は自宅でお店の味を楽しめる。</p>	食品加工業者、飲食店
<p><b>【地方の絶品グルメを都市部で提供】</b></p> <p>都市部の飲食店が、地方の老舗の人気メニューのレシピを教わり、自店で提供。売り上げの一部を協力店に還元する。</p>	飲食店
<p><b>【オンライン居酒屋】</b></p> <p>飲食店が事前に予約した人の自宅に料理を配送するとともに、バーチャル店主となり、WEB上で交流会を開催。予約をした人はバーチャル店舗に入店（WEBに参加）し、自宅で料理を楽しみながら、店主や他のお客と交流する。交流会の開催には、IT企業等が提供するマッチングサービスを活用。</p>	飲食店、IT企業等